

成蹊大学ルーマニア交流プロジェクト活動報告

成蹊大学ルーマニア交流事業は、「成蹊大学東京オリパラプロジェクト」の一環として2016年度に始まりました。武蔵野市と連携しつつ学生スタッフを中心に、武蔵野市招聘ルーマニア研修生との交流(2017、2018、2019)、本学大講堂でのブラショフ交響楽団の演奏会と団員のアテンド(2017)、ルーマニアへの武蔵野市文化交流市民団派遣への学生スタッフ2名の参加(2018)、「ホストタウン交流フェス Sports for All ルーマニア・パラ」(2019)参加、モモイロペリカン通信への活動報告の連載等、様々な活動を行って



成蹊大学
文学部 特別任用教授
竹内敬子

きました。

コロナ禍でも歩みを止めず、パンフルートグループのオンラインレッスン継続と演奏会での発表(2020、2021)、日本武蔵野センターに通っているルーマニア人学生とのオンライン交流会(2021)、学生スタッフによる柔道アレックス・ボロガ選手への英語でのオンラインインタビューと映像作成(2021)等、できることを一つずつ重ねています。

今後はここで得たつながりと友情をレガシーとして大事に育てていきたいと思います。

ルーマニアホストタウン推進実行委員会より

武蔵野市は、ルーマニア ブラショフ市との友好関係を縁に2016年にホストタウンとして登録して以来、6年間ルーマニアを応援してきました。ホストタウンサポーターに登録されている約700名の皆様におかれましては、この取り組みにご協力いただき誠にありがとうございました。皆様のおかげでルーマニアと本市の相互交流を深める有意義な活動ができました。

新型コロナウイルス感染症の影響で東京2020大会が1年延期となり、その間ホストタウン事業も思うように実施できませんでしたが、大会期間中には選手村に滞在中のパラリンピック選手と市民やホストタウンサポーター等とのオンライン交流会を実現できました。また、ルーマニア パラアスリート募金では多大なるご寄付をいただき、本市での強化合宿にパラアスリートたちを招待することができました。活用しきれなかった募金はルーマニア・パラリンピック委員会に寄付させていただく予定です。皆さまのご支援に心より感謝いたします。

最後に、ホストタウン事業にご協力くださったすべての方に感謝を申し上げます。そして武蔵野市は、ホストタウンの取り組みを通して育んだ友情を途絶えさせることのないよう、これからもルーマニアとの交流を進めていきます。



2019年3月ルーマニア大使館訪問時



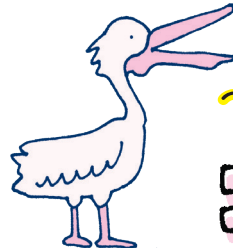
編集後記

本通信を作成するにあたって、様々な方にご協力いただきました。インタビューを受けてくださった方や記事を書いてくださった学生さん、皆様のお力添えがあり無事に最終号を迎えることができました。本当にありがとうございました。(杉井)

創刊から最終号まで携わり、ルーマニアと武蔵野をつなぐ様々な方のお話を聞くことができました。この通信を通じて少しでもルーマニアとホストタウン事業に親しんでいただければ幸いです。ありがとうございました！(稲垣)

コロナ禍でイベントが開催できず発行の危機もありましたが、最終号を迎えることができました。モモペリ通信にはルーマニアがまるごと詰まっていると言っても過言ではありません！これまでご愛読ありがとうございました。(高橋)

ルーマニア 輪ムサシノ
ROMANIA・MUSASHINO



モモイロペリカンは
ルーマニアの国鳥です

～ルーマニア ホストタウン ムサシノ～

vol.7

モモイロペリカン通信



～ Team Romania 努力の結晶 ～ 東京2020大会 ルーマニア選手団の活躍

Final

2021 / 最終号

GOLD
金メダル

オリンピック
ボート女子ダブルスカル



COSR/TEA ROMANIA / foto:Cristian Nistor

SILVER
銀メダル

オリンピック
ボート男子ペア



COSR/TEA ROMANIA / foto:Cristian Nistor

SILVER
銀メダル

オリンピック
フェンシング女子エペ個人
アナマリア・ボベスク選手



COSR/TEA ROMANIA / foto:Cristian Nistor

SILVER
銀メダル

オリンピック
ボート男子フォア



COSR/TEA ROMANIA / foto:Cristian Nistor

SILVER
銀メダル

パラリンピック
自転車トラック4000mバシュート
エデュアルド・ノヴァック選手



BRONZE
銅メダル

パラリンピック
柔道 男子60kg級
アレックス・ボロガ選手



©Rafal Burza

オリンピック

200m自由形	ダヴィッド・ボボヴィッチ選手	4位入賞
100m自由形		7位入賞
カヌー スプリント 男子カナディアンペア1000m		5位入賞
卓球女子団体		5位入賞
ボート女子軽量級 ダブルスカル		6位入賞
ボート女子 エイト		6位入賞
陸上女子ハンマー投げ	ピアンカ・ゲルベル選手	6位入賞
マウンテンバイク男子 クロスカンントリー	グラッド・ダスカル選手	7位入賞
競泳男子100m背泳ぎ	ロベルト・グリーンツァ選手	8位入賞

パラリンピック

卓球 男子シングルス	ボビ・シミオン選手	5位入賞
陸上 やり投げ	オクタヴィアン・トゥカリク選手	7位入賞
自転車トラック 3000m バシュート	エデュアルド・モエスク選手	9位
陸上 400m女子	タビタ・ゲルトゥラル選手	11位 自己ベスト更新
アーチェリーリカーブ男子	エウジェン・バトル選手	16位
個人ランキングラウンド		

写真提供: ルーマニア・オリンピック・スポーツ委員会、
ルーマニア・パラリンピック委員会、Cristian Nistor, Rafal Burza
転載・複製を禁じます

入賞
など



ショータ、アレクサンドラ、
おつかれさまでした！

5年間ホストタウンムサシノの公式キャラクターを務めたショータとアレクサンドラが、その役目を終えようとしています。
2人の公式ツイッターもフィナーレを迎えます。エンディングまでツイートを楽しみに。

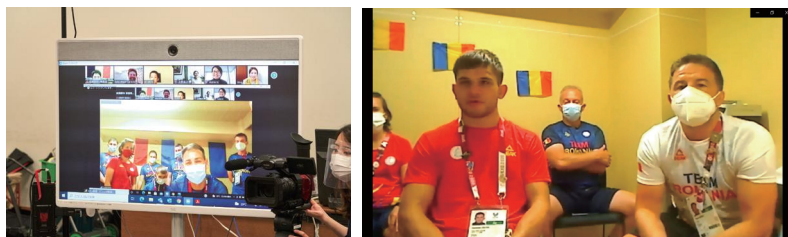
ショータ：@shotaEll
アレクサンドラ：@Alexandra9mai

EVENT REPORT

ホストタウンムサシノ
ルーマニア×武蔵野

オンライン交流会

8/22 8/28 9/4



選手村に滞在するルーマニア・パラリンピック選手団とのオンライン交流会を3回にわたって行いました。選手団を武蔵野市にお迎えし対面で交流することは叶いませんでしたが、オンラインで参加した皆さんがたくさんエールを選手に送り、気持ちを伝えました。選手たちの競技にかかる熱い想いを聞くことができ、とても貴重な時間となりました。

Q ルーマニアにはスポーツ選手がどれくらいいて、どれくらい強いんですか？

現在、ルーマニアのパラアスリートは300名ほどいますが、その中でパラリンピックに出場できる選手は一握りです。若い選手がどんどん増えているので、2024年パリ大会では、より多くの選手を送り出せるよう選手育成に力を入れていきます。
(ルーマニア・パラリンピック委員会 サリー会長)



Q 試合前に必ずする願掛けやゲン担ぎがあったら教えてください。

アーチェリーに小さいクマのチャームをつけて、お守りにしています。
(アーチェリー エウジェン選手)
試合前、必ず左から靴を履きます。
(チブリアン選手団長)



Q 調子の良い時、悪い時があると思いますが、モチベーションを上げるためにしている事や気をつけている事はありますか？

調子の悪い日でも気にせず、とにかく頑張ることで乗り越えられます。
(柔道 アレックス選手)
調子の波があることを受け入れることです。
(チブリアン選手団長)



Q 日本のバリアフリーは、ルーマニアとくらべてどうですか？

かなり違います。日本はスポーツをするための環境が整っているし、それ以外でも障害のある人を受け入れる仕組みがとても整っていると思います。
(陸上400m タビタ選手)



オンライン交流会の様子をダイジェストにまとめた動画を市のYoutubeで公開しています！



選手団から武蔵野市へメッセージ

たくさんの温かい応援とメッセージをありがとうございました。1回1回を終えるごとに皆さんからエネルギーをもらえた気がします。選手村から出ることができず、直接お会いできなくて残念でしたが、私たちのチームはこの交流でとても素敵な経験ができました。3回にわたりとても楽しかったです。企画を考えてくれた武蔵野市、いろいろな質問を用意してくれたお子さんやサポーターの皆さん、ありがとうございました。ルーマニアと武蔵野市との交流をとてもうれしく思います。このパンデミックが終わったら、皆さんと再会できることを願っています。

参加者の声

直接会えないのは寂しいですが、オンラインでもこんなに盛り上がるなんて想像以上でした。応援の温かい気持ち、ちゃんと選手たちに伝わったと感じました。

オリンピック・パラリンピックに関わることでできた感じがしました。

サリー会長が“みんなのマンマ！”という温かい雰囲気の方で素敵でした。

子どもにも思い出に残る体験をさせられたと思います。どんな質問にも選手が丁寧に答えて下さったことにとても感激しました。

選手たちが、「スポーツは誰にでもできます」と言っていたのを聞いて、障害があってもなくても気持ちがあれば同じだなと思いました。このコロナ禍で、まさか選手と交流ができるとは思っていなかったのも、とても楽しかったですし、よい記念になりました。

アスリートと直接交流することができて貴重な体験でした。自分以外のルーマニアを応援している方々の顔を見ることができて一体感を感じることができました。

わたしのルーマニア

ルーマニア×武蔵野×ヒト

東京2020大会 ボランティア

武蔵野市在住
早田 巡さん
松井 隆雄さん



早田さん 選手村のモニュメント前で



松井さん 東京体育館にて

今回は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にてボランティアとして活躍された、武蔵野市民のお二人から感想をいただきました。ルーマニア選手団のご担当としてチームを身近で支えてこられた早田さんは、武蔵野市と選手団とのやりとりもフォローしてくださいました。卓球の通訳をされた松井さんは、ルーマニア・パラリンピック選手団とのオンライン交流会にもご参加くださり、競技場の熱い雰囲気をシェアしてくれました。今大会を現場で体験されたお二人のレポートをご覧ください。

ルーマニア選手団事務局 言語ボランティア 早田 巡

オリンピックとパラリンピックを通して、ルーマニア選手団事務局担当の言語ボランティアをしました。事務局の置かれた選手村は、プライバシー保護のためメディア取材も制限されていますが、約200か国の選手たちの生活の場であり、リラックススペースです。また同時に、大会運営のためのすべてのサービスが揃う場所でもあります。破れたユニフォームや柔道着用のミシン工房、車いすや装具などの調整のための特別な修理センターまであります。私はここで、出入村手続き、選手団長やドクターの皆さんの交通手配、開閉会式への誘導、競技場アテンドなどをしました。ホストタウンであるルーマニアの担当に選任されたのは偶然ですが、ルーマニアは以前から好きだった彫刻家ブランクーシの故郷であり、世界遺産も豊富で訪れてみたい国でした。そして今回さらに近い国になりました。選手団を空港へ送り出す時、最後の言葉は「コロナが終わったらルーマニアに行きます！」でした。

卓球会場 通訳ボランティア 松井 隆雄

この夏、オリンピックとパラリンピックに通訳ボランティアとして参加しました。卓球の東京体育館にて、試合を終えた直後の選手のインタビューの英語通訳の仕事をしました。日本選手たちの活躍もあって大いに盛り上がった卓球。水谷・伊藤ペアの金メダル戦でも海外ジャーナリストのインタビューを担当させていただきました。我々がルーマニア選手たちも大いに頑張っていました！私がルーマニア選手の通訳を担当する機会はありませんでしたが、その活躍はしっかり目に焼き付けてきました。オリンピックでは華麗なベルナデッテ・スッチ選手の女子チーム、パラリンピックではボビ・シミオン選手が活躍しました。残念ながらメダルには届きませんでしたが、どの試合も熱戦を繰り広げていました。今後もルーマニアから目が離せません。無観客の会場で、現場の熱い試合の数少ない生き証人として、大切な役割をいただけたことに感謝しています。熱い夏、興奮の毎日、素晴らしい体験をさせていただきました。

ルーマニア応援プロジェクト～届け！武蔵野からの熱いエール～

